

NEWS LETTER

NO.38

2011.3.31



にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本
〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22
☎078-453-5931
http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

夢に向かって

日本に行くことが決まった時、日本で母国語（タイ語）を教えることができたらどんなに幸せだろうと思いました。

来日してすぐ日本語学校に行きました。初級クラスにもかかわらず、国で4年間日本語を勉強してきた人ばかりでした。その時は毎日5~6時間は勉強していました。会話に関しては、1人で2役の練習をしました。しかし、どうしても漢字だけは頭に残りませんでした。それでも、夢に向けて頑張って勉強を続けていました。

来日したばかりの頃、何が一番困ったかというと、病院に行くことでした。実は、私はタイにいる時から病気がちでした。今まで3回も手術をしました。日本人は「大人なら一人で病院に行けるでしょう」と思う方が多いかも知れませんが、



タイ人は病人を一人で病院に行かせるなどという心細いことは決してさせないです。日本の病院に行った時、言葉も通じなくて、ちゃんと説明できなくて、とても怖かったです。

お医者さんに何を言われたか理解できずにそのまま帰った時もありました。病院以外でも、しばしば不安がありました。少ししか単語を知らないので相手に勘違いされることもよくありました。

そんな「悔しい」という気持ちの中で学校に通いながら、アルバイトをしていました。日本語ができないせいで仕事の制限があったのです。

1年半日本語を勉強して2級を取得し、言葉も大分理解できるようになりました。その後もアルバイトをしながらボランティア教室で日本語を勉強しました。1年後、日本語能力試験1級を取得しました。取得後すぐ必死に新しい仕事を探しました。ケーキやクッキーの製作工場の契約社員で1年間勤めました。

しかし、夢はずっと心の中に残っていました。日本の大学を出ていなければタイ語講師にはなれないと思っていたので、諦めかけていました。運よく、ある先生に「ラーワンさん、タイ語を教えるたいですか？」と声をかけて頂きました。「きたー！！」と思いました。その半年後、勇気を持って別のところへも応募してみました。やはり、条件は日本の大卒でしたが、1級の取得と経験ありということで採用してもらいました。他の講師は皆、大阪大学在学中でしたので、最初はかなりのプレッシャーでした。でも、多くの日本人と接したいのと、タイ語の先生になりたいとの思いで、精一杯頑張りました。

今は、朝から晩までほぼ毎日働いている私ですが、「疲れた」とか「嫌になった」と思ったことはありません。たしかに、色んな生徒さんがいますが、彼らと出会えることによって日々自分が成長していくのを凄く感じます。そして、タイ語の勉強に来る人はたいてい「タイが好きだから」と言ってくれます。その言葉を聞くと私は堪らなくうれしいです。

授業をする時、楽しくて皆に感謝しています。これからも頑張ってこの仕事を続けたいと思います。

大好きな日本人に自国の言葉や文化を教えることができるのは、何より誇りに思うからです。(山中ラーワン)

学習者自己紹介

☆伊藤 恵子さん 中国出身

自分のやりたいことを

こんにちは。私は昨年の11月からひろばに通っている伊藤恵子と申します。

私は日本生まれの中国人です。2010年の夏、日本に帰国しました。今は三宮でアルバイトをしています。

以前は、何も目標がなく、ごく普通に毎日をすごしていました。でも、ひろばに来てから、小さな目標が見つかり、やさしい先生にも出会えました。

私を担当している先生は掛橋先生です。掛橋先生は、母みたいに親切になんでも教えてくれます。面接の事や、仕事のことや、勉強のこと…いっぱい教えてもらいました。

5年ほど中国にいたので、全然日本のこととか、わからなくなり、ゼロからの出発でした。初めての面接の時、電話は何とか通ったけど、面接では頭がまっ白でした。聞かれた問題も、

何を答えていいかわからなった…何件も失敗して、メッチャ、ショックでした。でも、今のところに決まった時はすごくうれしかったです。



今後も日本の文化を勉強して、自分の本当にやりたいことを見つけていきたいと思っています。

<支援者からひとこと> 掛橋智佳子

恵子さんは、明るくて礼儀正しくて頑張り屋さんです。「先生」と呼んでもらうのが申し訳ないくらい日本語も上手だし、私もたくさんのこと教えてもらっています。

恵子さんが頑張っている姿を見て私も元気をもらっています。

学習者紹介

★李 ヒュンジンさん 韓国出身

有意義な 90 分を

こんにちは。私は神戸女学院大学4回生の稻田朋と申します。現在、ボランティアの福田さん（写真左）とペアで、李・ヒュンジンさんを支援しています。



李くんは韓国のソウル出身で、現在は神戸大学に去年の9月から留学生として通っています。ソウル大学では、スポーツを専攻していて、神戸大学でも野球部に入って毎日練習を頑張っています。李君は背がとても高いので、まるでプロ野球選手のようです！今では寮生活にも慣れて、去年の11月には日本の友達と旅行に行つたそうです。名古屋と東京を観光してきたそうですが、なんと名古屋から東京まで友達の車で行ったのだそうです。嬉しそうに話してくれながらも「疲れた」とつぶやいていました。1年間という限られた時間ですが、日本での大学生活を満喫しているようでした。

日本語の上達も本当に早く、日本に着いた頃は、平仮名とカタカナが読めるという感じだったのですが、今では長い文で最近の出来事を私や福田さんの質問に答えてくれます。いつもレッスンは、ゲームをしたり、韓国のことを見たり、おしゃべりをしながら、3人で本当に有意義な90分を過ごしています。あと少しです

が、李君や福田さんと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っています。（稻田朋）

★ジョン・アルムさん 韓国出身

笑顔でこちらが元気を

はじめまして。12月から「にほんごひろば岡本」でジョン・アルムさんと一緒に勉強している小野木です。

韓国出身のジョンさんは、新婚1ヶ月でご主人の留学で来日されました。慣れない異国で新婚生活がスタートし、ご苦労や寂しさもあると思いますが、いつも笑顔でこちらが元気をもらえます。

レッスンでは『みんなの日本語I』のテキストを使い、学んでいます。新しい文型を導入すると、とても勘のいい彼女はユーモアを交えながら自分の言葉ですぐに例文をあげてくれます。吸収の早さにはいつも驚かされます。互いに冗談を言い合ったり、とても楽しい時間を過ごしています。最近では一緒に学んだことやTVを見て覚えた言葉を使ってどんどん話をして



くれるようになってきました。新しい発見が毎週あります。

私自身の教える能力向上を怠らず、彼女の自立に少しでも手助けができると願っています。そして、ジョンさんとの出会いに感謝しています。（小野木愛）

★マルタン・ランジェリエさん
カナダ出身

子どものために日本語を

マルタンさんは1メートル90センチは優にあろうかと思う、がっしりとした長身の方です。お歳は41歳だそうですが、お見かけした感じはずっとお若く、ハンサムな好男子です。



2008年に日本の方と結婚され、結婚式はカナダでも、日本の神社でも挙げられました。今回、奥さんがお産で里帰りされたので、4ヶ月の休暇を取って奥さんと一緒に来日、昨年12月21日に無事第1子の男児が誕生、テオ君と命名されました。

お仕事は図書館で司書をしておられ、公務員です。「日本では、4ヶ月も休暇を取ると、復帰しても机がないよ」と言いますと、「私も初めて取った」とおっしゃっていました。

カナダにはフランス語圏がありますが、マルタンさんもモントリオールのお近くのご出身で、母語はフランス語です。もちろん英語もで

きるバイリンガルで、奥さんも英語もフランス語もお話になるそうです。

息子さんが話ができるようになると、奥さんと息子さんはきっと日本語で話すだろうから、マルタンさんも日本語が話せるようになっておこうと、日本語の学習を始められました。息子さんは学校ではフランス語と英語を使い、家では日本語も使うだろうから、3カ国語のマルチリンガルになると、すこしニンマリ顔で話されていました。

日本におられる間に、歌舞伎や金閣寺なども見学され、感銘を深められたご様子でした。奥さんのご実家の方から、京都のゲイシャハウスに行こうと誘われ、最初は断ったのですが、あまりに勧められるので同道されました。

お座敷に上がって、お酒と食事をしながら、芸者さんや舞妓さんの踊りを楽しまれました。興が乗って来て、獣師、奥さん、狼を身振りでするジャンケンで、負けるとお酒を飲まなければならぬゲームをすることになりました。それが思いのほかままならず、駆け引きがあり、芸者さんにはぜんぜん勝てず、すっかり酔っ払わされて、「とても面白かった」とのことでした。それもあってか、すっかり日本酒ファンになられたようです。相撲も見てみたかったのに、八百長問題で春場所が中止になり、残念だとおっしゃっていました。



日本語は初級で、『みんなの日本語』をはじめから学習されています。フランス語の文法解説書を持っておられて、フランス語から日本語を作文するように、よく考えながら発話されてい



ます。すごく理性的な感じがします。フランス語は、主語や目的語などをはっきり言わないといけないのに、日本語は主語も目的語も省略して、短い文でも伝わるので便利だとおっしゃっていました。

水曜日と土曜日に、ひろばに来られていて、水曜日は佐々木さん（写真5ページ）が、土曜日は私（写真4ページ）が支援しています。4ヶ月の休暇もあつという間に終わりに近づきました。カナダに帰られる前に沖縄にも旅行されるので、ひろばでの学習も、あとすこしになってしましました。

カナダに帰られてからも日本語の学習を続けられ、一家団欒を日本語で話されるようになってもらえばと思っています。（中安元博）

簡単でおいしく作れる料理があれば教えていただけすると嬉しいです。

大学に入ってから、高齢者や子どもと接するボランティア活動をしていたのですが、もっと多くの人と関わりたいと思い、ひろばに支援者として活動することを決めました。

今は、村岡さんとミリさんのレッスンに参加させていただいているのですが、韓国と日本の文化の違いや外国の方から見る日本の印象など毎回驚くことばかりです。逆に教えてもらうことのほうが多く、自分の未熟さを痛感しますが、これからも学習者の方と共に成長していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。（写真は左から下浦さん、村岡さん、ミリさん、新家さん、韓くん）



支援者紹介

★下浦 美穂さん

学習者と共に成長を

はじめまして。去年の10月からお世話になっている甲南女子大学3年の下浦美穂です。

少し自己紹介をしたいと思います。私は大阪の豊能郡という自然いっぱいの地域で生まれ、現在は兵庫に住んでいます。趣味は食べることと散歩で、散歩中に可愛いカフェや雑貨屋さんを見つけるのが好きです。自炊をしているのですが、レパートリーが少なく困っているので、

★新家 はるかさん

離れた環境で何か新しいことを

はじめまして。去年の10月からお世話になっている甲南女子大学の新家はるかです。

大学では人間科学部で心理学の勉強をしています。私は今まで外国人への日本語学習支援の経験はなかったのですが、外国の文化や考え方には以前から興味があり外国人との交流も好きでした。大学生活から離れた環境で何か新しいことを始めてみたいと思っていたとき、学

内でにほんごひろば岡本のことを知りました。

今は下浦さんと一緒に、村岡さんと韓国からの留学生のミリさんのレッスンを見学させてもらっています。全員学生なので、そんなに緊張せずに楽しく参加しています。まだ主に見学だけですが、勉強中のミリさんの質問を聞いて「もし今の質問、自分がされていたらどう説明したかな」とか、「これをもっと日本語が不慣れな人に説明するしたらどう言えばいいのかな」と、既にもう外国人に日本語を教えることへの難しさを感じています。

周りは長年この活動をしてこられた方や日本語教師を目指して勉強中の方ばかりなので、ひろばに来て間もない頃は心強さを感じる反面、「自分ももっとしっかりしなきゃ」と少し焦るような気持ちもありました。でも、みんなが楽しそうに活動していらっしゃるのを見ているうちに、私も大学生活とのバランスを考えながら楽しく続けていけたらなと思うようになりました。これからもよろしくお願ひします。

★佐藤 旬子さん

言葉のおもしろさを

みなさん、こんにちは。去年からにほんごひろば岡本にお世話になっている、どっぷり社会人の佐藤です。

現在は、インターナショナルスクールに通うクラウディアさんと一緒に勉強をしています。私にとって初めてのボランティア活動で、何

をどう進めていいのか毎回試行錯誤の連続ですが、少なくとも楽しく、お互いいっぱい間違いをしながら言葉のおもしろさを発見できたらいいな～なんて思いながら、支援しています。

実際、レッスンではあまりにも私が一人はし



やぎすぎて 10 代の彼女の方が冷静・・・なんてこともあります、暴走する私によくついてきてくれているな～と感謝カンシャです！まあ、そんなこんなでコーディネーターの方にも大いに助けてもらいながら、初心者マークの支援者です。

今年は彼女だけでなく、ひろばで出逢える人たちともたくさん交流して（まだまだ大学生には負けていられませんからね）日本語！ってことだけにフォーカスしないで輪を広めていければいいな、と思っています。

教室で見かけたらぜひ、声をかけてくださいね。よろしくお願ひします。

みんなのひろば

【2010年 スピーチ大会・年忘れお楽しみ会】

(2010年12月19日)

すっかり恒例になりました年末のイベント、年忘れお楽しみ会が 2010 年 12 月 19 日、行なわ



れました。今年も沢山の人たちが参加して、大盛況でした。スピーチ大会で幕を開け、高山先生指揮「ボイス・アーツ・アンサンブル」のみなさんによるコーラスの披露、食事、ゲームと楽しい時間を過ごすことができました。

写真は随分時間が経ちましたの

で、色も褪せているかもしれませんね（??）。でも、思い出して楽しんで下さい。鍵盤ハーモニカの飛び入り演奏やタイ舞踊、輪になってタイダンスが盆ダンスにな



つ
て
い
る
人
も
い
ま
し

たね。





ゲームはなかなかの迫力でした。最後のイス取りゲームはスリッパを脱いで真剣勝負の◎◎さん、結果は？



スピーチ大会では5人が色々なお話を下さいました。最優秀賞はルサコビッチ・エレナさん（写真左）と韓 永旭くん（写真右）、「オーディエンス賞」は干 淑霞さんに輝きました。

スピーチを聞いていると景色が見えてくるようなお二人（エレナさん・韓くん）の原稿（原文のまま）を紹介しましょう。

日本の最初の感動

サコビッチ・エレナ

初めて来日したのは約三年前です。来日の最初の日はいまでもけっして忘れられません。この度、日本の最初の感想を述べさせていただきます。

来日の前、日本のビザを取得するためモスクワという首都に一週間くらいいました。

その時、モスクワの天気は温度がゼロ度で、お空は暗い雲におおわれていて、太陽がぜんぜん見えませんでした。時々、雨か雪が降りました。雪は地面で溶けていて、道路までも真っ黒でした。そういうわけで私の気分が沈んでいました。



ついに、待ちに待ったパスポートを取得できました。これで「やっと、日本に行けるよ」と思いました。ラッキーなことに年末だったため飛行機代は半額になりました。そして、2007年12月31日に日本行きの飛行機に息子のイリヤと一緒に乗りました。

翌朝、飛行機の窓から真っ青に晴れた空に富士山を見て驚きました。富士山を見られたら吉兆だと言われたからです。

成田空港に到着してから、羽田空港で神戸行きの飛行機に乗り換えるため、バスに乗りました。

一つ目のおどろきは、晴天で日光に照らされた景色でした。

二つ目のおどろきは、道のそばに真っ赤な椿が咲いていました。なぜなら、冬のリシアでは雪しか咲いていないからです。「魔法のようだ」と、私は思いました。そして、笑顔になって羽田空港まで行きました。

今まで、三年くらい過ごしたけれど、冬の真ん中に咲いている花は確かに不思議なことだと思っています。

関西弁はむずかしい？ちやうで～めっちゃおもろいで～

韓 永旭

近いといえば近い日本、遠いといえば遠い日本での留学を決めてから私は一年間韓国の中学校で日本語を習いました。日本語は韓国語と文法が同じだから習えば習うほど、習ったことを話せば話すほど、どんどん面白くなり、日本に行く時はずいぶん上手になったなと思いました。

ところが、日本に来たばかりの関空から問題でくわしました。それはバスの運転手の関西弁でした。口は早いし、発音ははっきりしない、分からぬ言葉が半分以上、私が勉強する時に聞いた練習テープとは全然違う日本語でした。一緒に来たミリちゃんも全然わからなくてあわてました。聞いて、また聞いてバスに乗ってまた聞いて電車に乗って、やっと学校につきました。夜に着いて担当の先生に会いました。ところが・・・先生の話も全然分からない！

「何これ、私が習った日本語は何だらう？」と思いました。それに慣れるまで相当時間がかかりました。私が日本語を全然知らなかつた方が、受け入れるのが早かったかもしれません。でも教科書とおり習った私は受け入れにくかったです。なぜ、「食べない」のないをへんに変え、「食べへん」というのか、「知らない」を「知らん」というのか。

慣れる前は大変だったけれど、今は関西弁に慣れ過ぎたのか、関西弁もよく使



います。例えば、メッチャとか知らん、分からん、そんなことゆってへん、ちゃんとしとかんとあかんよ～！など、もう口ぐせになりました。でも慣れたと言ってもまだわからないことの方がモット多いのは当然！。例えば道を聞こうとする時、おばあさんとか、おじいさんに聞くと全然分からぬ関西弁！に私はあわてます。それに関して私だけのコツは何か聞く時には若い人に聞いてみるのです。若い人は私が外国人なのに気がつき、易しい単語で教えてくれるからです。

最初はせっかく日本語を勉強するのに正しい標準日本語じゃなくてなまりを習ってどうするんだと思った時もありますが、でも今は関西に住んで良かったと思います。もし東京で留学をしたら関西の言葉は分からぬかもしれません。でも関西に留学したので東京の言葉も分かるんぢやいます？そして関西弁は口にするのが魅力的な言葉だと思います。関西弁とはちょっと別の話だけど韓国には男性、女性の言葉が分かれていませんで、自由に言っても構いませんが、日本はそうでもなさそうですね。

最近、私が「女性ぽい話し方をしている」とよく言われるんだけど、それを聞くと何かでれくさいですね。「私はこれに慣れているんだもん！」と答えるとまた笑います。でもいまさら変えたくないし、まあこれなりにいいじゃないかなと一人でなぐさめています

私は一年短期留学で日本に来たのですが、今考えると本当に一年早かったなと思います。早かったけれどここで経験した文化とか習ったことは山ほどあります。

それらについて一年間私に日本語を教えてくれた先生たちに感謝いたします。

みんな元気で～す

【祝 勝島千晶さんご結婚！】

にほんごひろば岡本最初の学生ボランティアとして活動して下さった、勝島千晶さんが卒業後故郷の広島県尾道市の向島で日本語支援をされていたのは、皆さんご存知だと思います。彼女が 2010 年秋、結婚されました。ひろばからは、下田先生が出席され、ひろばからのお祝いのメッセージを伝えていただきました。やさしそうな旦那様との素敵なお写真を送ってもらいました。また、お二人で遊びに来て下さいね。



【スコットさんから新年のご挨拶】

お楽しみ会のゲームで大活躍だったスコットさんから新年のカードを頂きました。今年はN1の試験に挑戦するそうです。頑張って下さい。

【鄭仙京さん 北海道（千歳）から来てくれました】

2004年のスピーチ大会で楽しいお話をしてくれた鄭仙京さんが、3月5日の土曜日、ご主人の竹永さんや長男の優真（ゆうま）君や長女の姫恩（ひおん）ちゃんと一緒に、ひろばに顔を見せてくれました。北海道の素晴らしさを語ってくれましたが、特にビールがすごくおいしいんですね。皆さん、是非来て下さいと言っていましたよ。



CONTENTS

★卷頭言

夢に向かって 山中ラーワンさん 1

★学習者自己紹介

伊藤恵子さん2

★学習者紹介

李ヒュンジンさん3

ジョン・アルムさん3

マルタン・ランジェリエさん4

★学習者紹介

下浦美穂さん5

新家はるかさん5

佐藤旬子さん6

★みんなのひろば

2010年お楽しみ会6

2010年スピーチ大会

ルサコビッチ・エレナさん 日本の最初の感動8

韓 永旭さん 関西弁はむずかしい?9

★みんな元気で~す

勝島千晶さんご結婚10

スコットさんから新年のご挨拶10

鄭仙京さん 家族で北海道から11

写真；1ページ 神戸の桜 韓永旭さん

12ページ 神戸モザイクの夜景 韓永旭さん



〔編集子
のつぶやき〕
2011 年最
初 の NEWS
LETTER です。
2011.3.11 大
変なことが
起きました。
未曾有！つ
て言葉では

言い切れない状態です。編集作業も進みませんでした。大変遅くなり申し訳ありません。(M. I)